

市民と森林をつなぐ国際森林年の集い

in 琵琶湖・淀川流域



2011・国際森林年

第4弾「森をつなぐ」未来に向かって、森を活かそう

(日本ビオトープ管理士会 平成23年度第4回研修会)

日時 平成23年10月30日(日) 10:00～16:30

会場 万博記念公園(自然観察学習館ほか)

入場無料、定員:第一部50名、第二部・第三部150名

■ プログラム ■

<第一部> 森を感じる (10:00～12:00)

◆バードウォッチングを通して、都市に再生された森林の豊かさを感じます。

《案内役》日本野鳥の会大阪支部



<第二部> 森を育てる・森林が育む (13:00～14:00)

◆都市の中に再生された森林を活かす取組みについての事例報告です。

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 「国際森林年に寄せて」 | 上田浩史(林野庁 海外林業協力室長) |
| 「万博公園40年の森林再生の取組み」 | 池口直樹((独)万博機構自立した森再生センター長) |
| 「木質バイオマスの利活用」 | 大塚憲昭氏(NPO法人里山倶楽部理事) |
| 「都市の子どもたちの環境学習支援」 | 山田一子氏(自然観察学習館ソラードの会) |



<第三部> 森をつなぐ (14:15～16:30)

▶パネルディスカッションを行い、都市の中に森を再生させる意義、森を活かした都市づくりと、活用について語り合います。

- パネリスト: 森本幸裕氏(京都大学 地球環境学堂教授)
伊藤壽記氏(大阪大学 医学部教授)
小川雅由氏(NPO法人子ども環境活動支援協会 理事・事務局長)
池口直樹 ((独)日本万国博覧会記念機構自立した森再生センター長)
上田浩史 (林野庁 海外林業協力室長)

司会: 橋本佐与子氏(毎日放送)



お申し込み (独)日本万国博覧会記念機構 (担当 池口)

e-mail: bionet0505@gmail.com FAX: 06-6877-8459

いずれもお申し込みが必要です。電子メールかFAXにてお申し込みください。
必ずお名前、ご所属、居住市町村名、参加予定(第一部、第二部、第三部)をお伝えください。
※定員(第一部50名、第二部・第三部150名)になり次第、申込みを締め切ります。

主催: 大阪府、(独)日本万国博覧会記念機構

共催: 森林環境の保全・整備連絡調整会議(滋賀県、京都府、大阪府、林野庁近畿中国森林管理局)、農林水産省、国際森林年国内委員会事務局、日本野鳥の会大阪支部、日本ビオトープ管理士会、日本ビオトープ管理士会近畿支部

後援: 全国地方紙新聞社連合会

問合せ: 大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室みどり推進課 TEL 06-6210-9556

市民と森林をつなぐ国際森林年の集い in 琵琶湖・淀川流域

2011年は国際森林年です。国際森林年の日本国内でのテーマは「森を歩く」です。「市民と森林をつなぐ国際森林年の集い」では、「次世代への継承」がキーワードです。「市民と森林をつなぐ国際森林年の集い in 琵琶湖・淀川流域」は、滋賀県、京都府、大阪府等と農林水産省が主催する国際森林年記念事業です。上流域の水源の森から下流域の都市部まで、琵琶湖・淀川流域を一体としてとらえた、連続企画を開催しています。



7月23日滋賀県「森を歩く」、8月17日大阪府「森を学ぶ」、8月27日京都府「森を語る」と題して、3回の「集い」を開催しました。第4弾は、まとめとして、「森をつなぐ」～未来に向かって森を活かそう～と題した、都市の中の森林を感じ、森林をつなぐ「集い」を開催します。

滋賀県、京都府、大阪府、林野庁近畿中国森林管理局は、平成17年3月に琵琶湖・淀川流域の民有林・国有林が連携して森林の保全整備を取り組む覚書を取り交わし、森林環境の保全・整備連絡調整会議として毎年様々な活動を続けています。

第1弾 「森を歩く」

びわ湖を支える水源の森林体験ツアー
(びわ湖の日30周年)

豊かな森は、豊富な水をたくわえて私たちに与えてくれます。森と水の深い関わりを確かめながら、琵琶湖・淀川流域の源流である森林を歩きました。

日程: 2011年7月23日(土)
場所: 山門水源の森、
長浜市西浅井文化ホール

主催: 滋賀県 共催: 長浜市、森林環境の保全・整備連絡調整会議(滋賀県、京都府、大阪府、林野庁近畿中国森林管理局)、農林水産省、国際森林年国内委員会事務局 後援: 山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会、(財)滋賀県緑化推進会、(社)滋賀県造林公社、(財)びわ湖造林公社



第2弾 「森を学ぶ」

シンポジウム「国産材を活用したヒートアイランド対策」

森林は、林業の場でもあります。森林を育て、地球温暖化対策に貢献するとともに、国産材を建築物にうまく活用して、都市にも快適な暮らしをもたらすことができます。新しい活用方法を通じて、「木づかい」を学びました。

日程: 2011年8月17日(水)
場所: 大阪木材会館

主催: 大阪府、(社)大阪府木材連合会
共催: 国産材を活用したヒートアイランド対策協議会、森林環境の保全・整備連絡調整会議(滋賀県、京都府、大阪府、林野庁近畿中国森林管理局)、農林水産省、国際森林年国内委員会事務局



第3弾 「森を語る」

野外シンポジウム「森を語る～以森伝心～」

修験の場としての森、人々の暮らしを支えてきた里山、市民の憩いの場である街なかの緑。様々な形で私たちの心や暮らしと深く関わっている森林について、植物園の木陰で語りあいました。

日程: 2011年8月27日(土)
場所: 京都府立植物園

主催: 京都府、京都モデルフォレスト協会
共催: 森林環境の保全・整備連絡調整会議(滋賀県、京都府、大阪府、林野庁近畿中国森林管理局)、農林水産省、国際森林年国内委員会事務局



第4弾 「森をつなぐ」

未来に向かって、森を活かそう

万博記念公園には、40年の年月を経て、人の手で再生した森林があります。今、その森には生き物があふれ、自然観察や環境教育、木質エネルギー利用の実証実験等、様々な形で活かされています。都市の中でも、人の手で森はここまで再生できる。万博の森を舞台に、未来に向かって森を育み、私たちの暮らしに森を活かすとともに、空間や世代を越えて森をつないでいく方法について考えます。

日程: 2011年10月30日(日)10:00～16:30
場所: 万博記念公園
参加費: 無料



フォレスト・サポーターズに入って森を歩こう!
<http://www.mori-zukuri.jp/>

会場(万博記念公園 自然観察学習館)へのアクセス

- 電車でお越しの方:
大阪モノレール「万博記念公園駅」下車徒歩15分
- 車でお越しの方:
「日本庭園前駐車場」徒歩15分
「西第1駐車場」徒歩15分
「中央駐車場」徒歩15分

* 第一部の集合は10時までに自然観察学習館前

